



西尾いきものふれあいの里だより

2月号

2025.2.1 発行

さとやま

2月の里といきもの

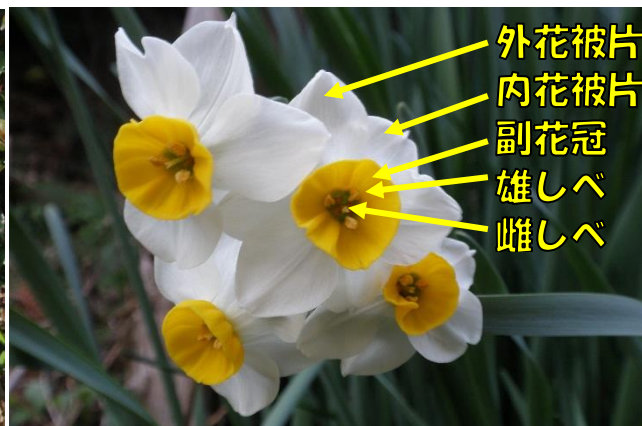


年末年始は、ラニーニャ現象の影響で、寒い日が続きましたが、長期予報では2月は気温が高めになるようです。春の花たちも早目に開花するかもしれません。

そんな里ですが、中央広場などでは寒いうちから**スイセン**の花が見られます。

ヒガンバナ科に分類される多年草で、地中海沿岸地域が原産です。寒さに強く、エネルギーを球根に蓄えておくことで、冬から早春に花を咲かせることができます。他の植物がまだ活動していない時期に競争を避け、効率的に受粉を行い、種子を残せます。

花は多くの単子葉類の花の特徴である6枚の花弁を持ち、外側の3枚は「外花被片」、内側の3枚は「内花被片」と呼ばれます。これらの花弁は、花の中心から放射状に広がります。花の中心には、「副花冠」と呼ばれるトランペット状の独特の構造があります。これは、花弁とは異なる色や形をしており、花の美しさを引き立てます。副花冠の内部には6本の雄しべが2本ずつ対になっていて、雄しべの中央には1本の雌しべがあります。



スイセン（水仙）の名の由来は、水辺に育ち、仙人のように寿命が長く、清らかであることからと言われています。

花が美しく、よく栽培されていますが、植物の全ての部位に毒性があります。特に球根部分には多くの毒が含まれており、まれにタマネギと間違えて食べてしまうことがあるそうです。葉はニラに似ているため、一緒に栽培して混じってしまったという事例があります。また、切り花を生けていた水を誤って口にする事故もあるので、注意が必要です。

2月はこんな生きものも見られます

ビオトープ付近などには、**ヤブツバキ**の赤い花が咲いています。ツバキ科に分類される常緑樹で、葉に光沢がある照葉樹の仲間です。



ヒヨドリや、メジロなどの鳥にも受粉を手伝ってもらう

鳥媒花です。そのため蜜の量が多く、花の少ないこの時期の重要な蜜源となるため、暖かい日には、近くの養蜂箱からやってくる**セイヨウミツバチ**が多数集まっているのを見ることができます。

ハンノキ広場では、**ハンノキ**や**カワラハンノキ**が花をつけています。風媒花の仲間であるハンノキ科に分類される落葉樹で、葉よりも先に咲きます。一般の花のイメージとはかけ離れた姿です。長く伸びる花弁のない雄花の穂をはたいてみると、花粉がホコリのように舞います。スギ花粉ほどではありませんが、まれに、人によっては花粉症の原因になることがあります。花粉の運搬を虫に頼らないので、寒くても受粉できます。



中央広場では、「春にまず咲く」から名がついたと言われる**マンサク**の花が咲きます。マンサク科に分類される落葉小高木で、リボンのような4枚の花弁のある花がいくつか房状につきます。

庭木や公園樹として広く利用され、本来は黄色ですが、里では赤色の品種が植えられています。流れの反対岸の私有地には、黄色のものが見つかります。



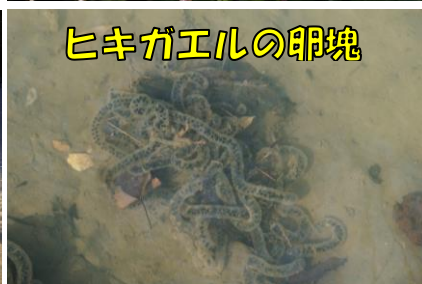
サブゾーンの長円寺境内では、見上げると**オガタマノキ**の花を見ることができます。モクレン科に分類される常緑高木です。

名前は、「招霊（おがたま）」という言葉に由来しています。「招霊」とは、神様を招くという意味で、古くから神聖な木として神社や寺院の境内に植えられてきました。特に、神楽殿の屋根の四隅に飾られる木として使われることがあり、このことから「神楽の木（かぐらのき）」とも呼ばれています。また、秋に実る果実は袋果が集まった集合果で、付き方が、神事に使う神楽鈴の形に似ています。

田んぼなどの湿ったところでは、**タネツケバナ**が咲いています。ナズナに似ていますが、果実がアブラナのように棒状になることや、葉が羽状になっていることで見分けられます。

シソ科の**ホトケノザ**は、春の七草のキク科のものとは違います。美味しくありません。

春の七草のハコベは何種類があり、この時期里でよく見られるのは、**コハコベ**です。



オオイヌノフグリは1日花で、夕方早くにしぼんでしまいます。

暖かい雨が降った夜は、田んぼエリアなどで、丸い塊の**アカガエル**や、長いひも状の**ヒキガエル**の卵塊が見つかります。

ビジターセンターでは、こんなサービスもあります



「小学館の図鑑 NEO」のDVD をセンター内で見ることができます。事務室へ申し込んでください。

他にも、竹トンボやペンダントなどの工作もあります。まだ少し肌寒い季節ですが、暖かい室内で過ごしたり、外に出て、早春のいきものを探したりして楽しんで下さい。

1 月の行事紹介



「お花炭を焼こう」の講座を1月12日(日)に開催しました。時おり、小雨が降る寒い日となりましたが、里山に花炭にする材料となる枯れた花や杉などを採取し、用意された松ぼっくり、木の実、枯れ葉などと一緒に缶に詰め、花炭焼きの準備をしました。

次に、屋外に用意した薪の火の上に缶を乗せ、火や煙の状況を確認しながら焼き上がるのを待ちました。その間に、花炭を飾り付ける器を作るため、用意された竹を自分の好みの長さに切り、ナタで半分に割って、バランスよく飾れるよう加工しました。最後に、冷めた缶の蓋を開けると、想像以上に上手に焼き上がった花炭、竹の器に飾り付け、感動・大満足でした。

2 月の行事予定

※2回以上受講した方には、「竹炭」をプレゼントします。

8日(土)	竹炭を作って飾ろうⅠ (竹切り・竹割り・窯入れ)	20名	AM 9:00~11:00	神本 晃 河野 俊治
9日(日)	竹炭を作って飾ろうⅡ(窯炊き)	20名	AM 9:00~11:00 (午後も参加可能)	
16日(日)	竹炭を作って飾ろうⅢ(窯出し)	20名	AM 9:00~11:00	

内容：1日目は、里山の竹林の間引きを行いながら竹切りし、窯に入れる大きさに竹を切って割り、丁寧に窯に詰めます。

2日目は、窯に火を入れ、火を絶やさずに約7時間一定の温度で焼き上げます。

3日目は、窯出しします。炭焼窯で、どんな竹炭ができるか楽しみです。

23日(日)	里山 俳キング	20名	AM 9:30~11:30	服部くらら
--------	---------	-----	---------------	-------

内容：里山は自然の宝庫。ゆっくり歩きながら足もとの生きものの息づかい、風の香り、せせらぎのささやきなどを五感で探しましょう。必ず俳句が生まれますよ。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候により**、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課